

平成22年6月3日

平成22年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第4回 6月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

前回より増加し、平均値および前年値と比べても多かった。

前年	平成21年6月1日	(6点の平均)	61.7 個
前回	平成22年5月19日	(17点の平均)	78.2 個
今回	平成22年6月1日	(7点の平均)	178.7 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

前回より増加し、平均値および前年値と比べても多かった。

前年	平成21年6月1日	(6点の平均)	11.1 尾
前回	平成22年5月19日	(17点の平均)	21.2 尾
今回	平成22年6月1日	(7点の平均)	58.6 尾

○プランクトン調査

プランクトン量は平年並みであったが、優占種はノクチルカ(夜光虫)であり、餌として重要なカイアシ類の量はあまり多くなかった。

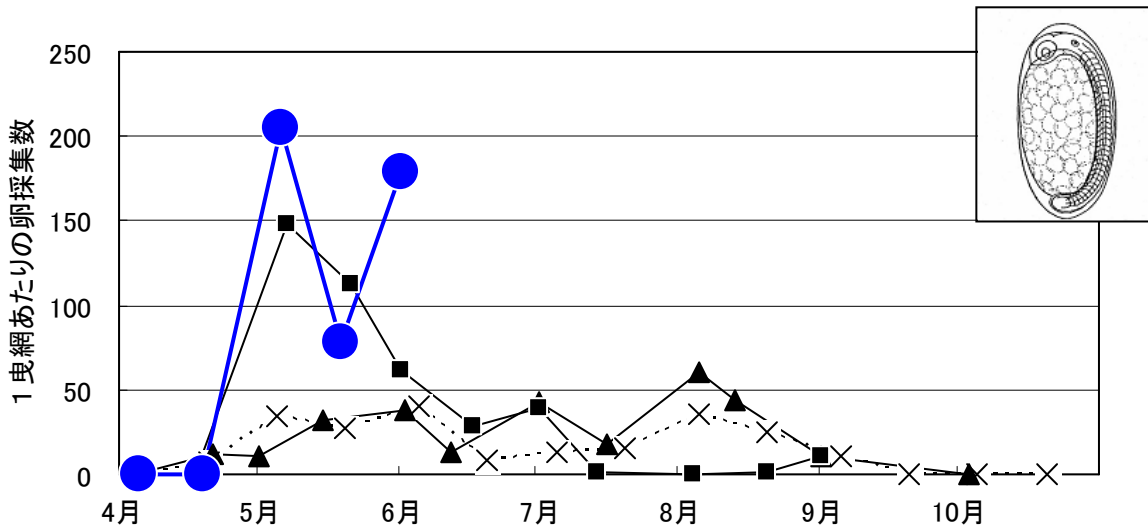
次回の調査は6月17日(木)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(6.1)

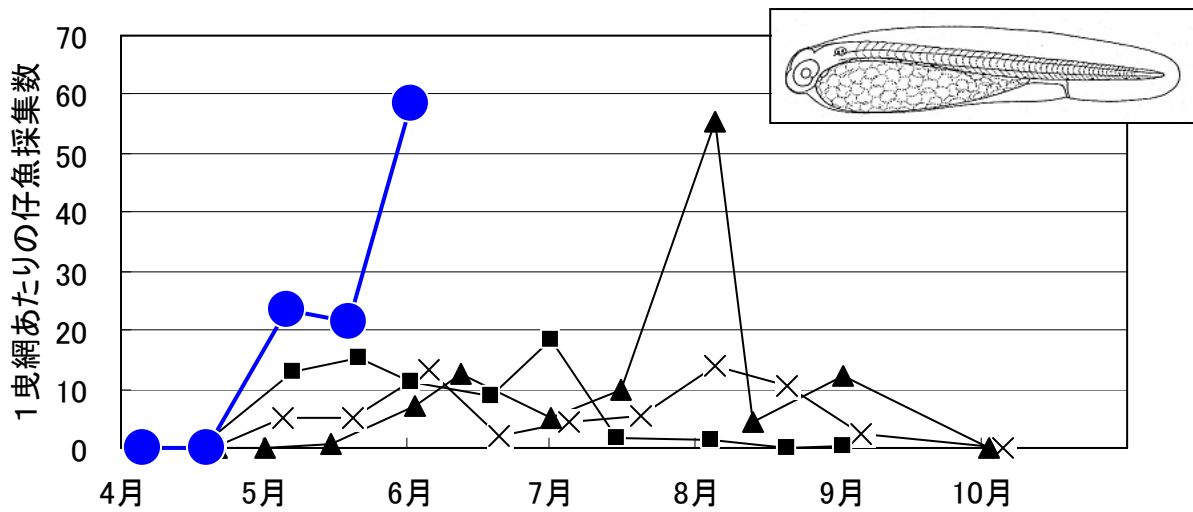
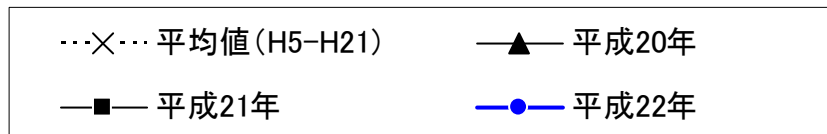


下側がカタクチイワシ稚仔魚を示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

